

【基本教育科目/社会の理解】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
平和と外交	NLA11_019	選択	2	1	後期
担当教員	研究室	電子メールID	オフィスアワー		
村上 雅博	教員控室	kango	Teams 授業後半 30分に質問等受付		
授業の目的・概要	<p>日本と国際社会（国連）および発展途上国との関係性⇄相互依存性に基づいた国際関係は、平和国家の生命線です。平和を希求する日本の外交政策の問題を抽出して解決に向けた課題を考え、国際協力（ODA）の役割と意義を明らかにすることから、自身の言葉（文章）で国際社会における日本の未来に向けた論点や意見を主張することができるような能力を身につけていくことが本講義の目的です。</p> <p>日本の国際（外交）関係の要点となっている主要なテーマ（戦争(紛争)と平和、貧困・差別・格差、国際連合、国連憲章、世界保健機構（WHO-UHC）、持続可能な開発目標（SDGs）、日本国憲法、国際貢献、政府開発援助（ODA）、NGO-NPO、人間の安全保障、テロ問題、等）についての歴史認識を踏まえて解説し、知識力に加えて考察・思考能力を高めていきます。</p> <p>今、新型コロナ(COVID-19)禍問題で直面している公衆衛生と生命倫理にも接点をもつ授業なので、人の命と健康に直接に係わる看護師や保健師の職業倫理に係わる基本的人権の問題にも着目しています。ヒポクラテス、ナイチンゲール、デュナン、ゼンメルワイスの医療倫理の原点に係わる事例を含めて解説しますので、人間と社会に係わる問題を解決するための課題を見極める力をつけていこう。</p>				
授業形式・方法	<input type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> デモ/シミュレーション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> その他（ ）				
学習上の助言	<p>講義のユニットごとに講義用 PPT-PDF ファイルとキーワード演習を含む課題演習（穴あけ形式知識問題：各 10 問）シートの PDF ファイルが Teams にて配信されるので、積極的に予習・復習と試験の対策に活用できる。講義の終盤にまとめとしてキーワード演習を Teams レポート形式で実施するので講義当日中に要領よく適切に対応してほしい。講義終盤の演習時間帯内に質問・コメントの機会がありますので、遠隔の欠点を乗り越えるために Teams のマイクをオンの上、挙手をして遠慮なく討議に参加して下さい。オープンな議論を歓迎します。</p>				
教科書	教科書は指定しない。必要な参考資料プリント(PDF)と講義用のPPT-PDF fileを事前にTeamsで配信。				
参考書	教科書・参考書に相当する配布テキストは全て無料でInternet-Webに公開されています。出展のURL： <a href="http://">http://</a> を明記した小テスト（穴あけ問題）形式の参考資料プリントを配布する。				
外部教材					
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	平和国家の存続基盤となる平和（目的）と外交（手段）のポイントになる知識を習得し、役割と意義を理解すると共に、生命倫理にも係わる問題を抽出して解決につながる課題について考える力を身につけ、自分の言葉（文章）で論点を主張・説明することができる。	HSU(1)(2)(3)(4)(5) NS(1)(2)(5)			
②	戦争と平和と外交の根源的な問題と課題および歴史認識にかかわる深いテーマについて、人間の命に直接に係わる職業人としての一般教養力と自身の根源的な思考能力（考える力）を高めていくことができる。自分や日本の事だけでなく国際社会の一員として責任のある職業人（看護職プロフェッショナル）になるための意識と見識を高めていくことができる。	HSU(1)(2)(3)(4)(5) NS(1)(2)(5)			
③	2022年2月にロシア・ウクライナ紛争が勃発し、コロナ禍に加えて悲劇的な混迷と戦間長期化が続いており、現実的にはエネルギーや食糧や地域の安全保障にも大きな影響が出ている。コロナ(COVID-19)禍問題に加えて、今日のロシア-ウクライナ紛争に関係する歴史的な国際関係の変遷や地域の安全保障問題に対する内容を強化しているため、最新の世界の最重要課題に関してチャレンジ出来る。	HSU(1)(2)(3)(4)(5) NS(1)(2)(5)			
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間（時間）		
1	プロローグ：今、世界は！“世界百人村”から⇒“幸福”とは？“不幸”とは？⇄差別・格差・不平等⇒貧困⇒国際関係および紛争・戦争と平和の課題	同時双方向型授業	シラバスと配布資料 (+PPT/PDF+課題演習)をもとに予習・復習し確認する。		
2	[A-1] 国際社会と国連 [UN]：世界平和と日本国憲法の原点は国連憲章 ～“安全保障”と“経済社会開発が国連の基軸”～ ロシア・ウクライナ紛争では機能していない国連の根本的な難問題	同時双方向型授業	シラバスと配布資料 (+PPT/PDF+課題演習)をもとに予習・復習し確認する。		
3	[A-2] 国際社会と国連 [UN]：貧困と格差の問題に取り組む人間開発（UNDP）⇄ 戦争・紛争+テロの脅威から人々の命と生活を守る⇒人間の安全保障	同時双方向型授業	シラバスと配布資料 (+PPT/PDF+課題演習)をもとに予習・復習し確認する。		

【基本教育科目/社会の理解】

4	[A-3] 国際社会と国連 [UN]：ミレニアム開発目標 [MDGs] から持続的開発目標 [SDGs] へ ⇒ “だれ一人として残さないために” ⇄ Universal Health Coverage：UHC	同時双方向型授業	シラバスと配布資料 (+PPT/PDF+課題演習)をもとに予習・復習し確認する。					
5	[B-1] 今日の国際関係の背景 [1] ロシア-ウクライナ紛争：ナイチンゲール・看護学とデュナン・赤十字の原点となったクリミア戦争（1853-1856）⇄ [D2]	同時双方向型授業	シラバスと配布資料 (+PPT/PDF+課題演習)をもとに予習・復習し確認する。					
6	[B-2] 今日の国際関係の背景 [2] 9-19 世紀の世界帝国の宗教対立：十字軍遠征（1096-1270）問題とオスマン（トルコ）帝国（1299-1922）との聖戦と派遣抗争	同時双方向型授業	シラバスと配布資料 (+PPT/PDF+課題演習)をもとに予習・復習し確認する。					
7	[B-3] 今日の国際関係の背景 [3]：今日のロシア-ウクライナ地域紛争と第一次世界大戦の原型となった露・土戦争（1877-1903）	同時双方向型授業	シラバスと配布資料 (+PPT/PDF+課題演習)をもとに予習・復習し確認する。					
8	[B-4] 今日の国際関係の背景 [4] 戦争の世紀の火薬庫：中東紛争：第一次大戦（1914-1818）とイギリスの三枚舌外交+第二次大戦（1939-1945）と中東戦争（1948-1973）+聖戦：テロ	同時双方向型授業	シラバスと配布資料 (+PPT/PDF+課題演習)をもとに予習・復習し確認する。					
9	[C-1] 日本の外交の目的と意義：平和外交の原点は国連憲章と日本国憲法⇒世界で唯一の平和憲法	同時双方向型授業	シラバスと配布資料 (+PPT/PDF+課題演習)をもとに予習・復習し確認する。					
10	[C-2] 日本の外交の目的と意義：国際社会の平和を築く国際協力のエンジンは政府開発援助：ODA	同時双方向型授業	シラバスと配布資料 (+PPT/PDF+課題演習)をもとに予習・復習し確認する。					
11	[C-3] 日本の外交の目的と意義：人間の安全保障⇄基本的人権から平和外交の目的と意義を再考	同時双方向型授業	シラバスと配布資料 (+PPT/PDF+課題演習)をもとに予習・復習し確認する。					
12	[D-1] 国境を超えるパンデミックと公衆衛生：世界の歴史を変えた戦争・紛争とも深く係わる感染症・疫病（パンデミック）	同時双方向型授業	シラバスと配布資料 (+PPT/PDF+課題演習)をもとに予習・復習し確認する。					
13	[D-2] 国(境)を超えるパンデミックと公衆衛生：戦争と感染症対策から生まれた看護学と公衆衛生学：ゼンメルワイス+スノウ+ナイチンゲール+デュナン	同時双方向型授業	シラバスと配布資料 (+PPT/PDF+課題演習)をもとに予習・復習し確認する。					
14	[D-3] 国境を超えるパンデミックと公衆衛生：先進国と発展途上国が共存し生き残るための国際社会のワクチン供給計画：COVAX の課題	同時双方向型授業	シラバスと配布資料 (+PPT/PDF+課題演習)をもとに予習・復習し確認する。					
15	エビローグ 日本の国際協力（ODA）は、なぜ必要か？	同時双方向型授業	シラバスと配布資料 (+PPT/PDF+課題演習)をもとに予習・復習し確認する。					
試	定期試験：小論文：40 分間 + 知識問：40 分間							
達成度評価								
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計	
		60	30	0	10	0	100	
総合力指標	知識・技術力	20	10	0	0	0	30	
	思考・推論・創造する力	20	10	0	0	0	30	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	2	0	2	
	発表・表現伝達する力	10	0	0	2	0	12	
	コミュニケーション力	0	0	0	2	0	2	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	2	0	2	
	問題を発見・解決する力	10	10	0	2	0	22	
評価のポイント						フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点						
試験	①	✓	キーワードの穴埋め問題形式で小テスト（50 問）を実施<課題演習シート+PPT ファイルから出題>し、基本的な知識習得の達成レベルを最終的にチェック（評価）する。				知識問題テスト⇒総合評価（100%）点の 30%で評価。	
	②							
	③		論文試験（800 文字）では、「問題」の所在を抽出し、その問題を解決するための「課題」について考えて目的や必要性や意義を理解して総合的に考察する力がどの程度ついてきているかを評価する。				論文テスト⇒総合評価（100%）点の 30%で評価。	
	④							
	⑤							
	⑥							

【基本教育科目/社会の理解】

レポート (課題演習)	①	✓	各講義の終盤に約 30 分間程度の課題演習専用の時間帯を設定するので、事前に Teams にアップロードされている当日の「課題（キーワード）演習シート」に取り組み、当該授業の終了時間を目途に自ら Teams にアップロードして提出にかえる。内容は重要と考える順でキーワードを3つ（①,②,③）選び、その中で最も大切だと自身が評価する No.①キーワードについて、なぜ興味をもち重要だと考えたかの主な理由を 90～100 字の文章に所感としてとりまとめる。量（文章・文字数）と質（内容レベル）の両方が評価の対象です。	総合評価(100%)点の 30% で評価。 第 15 回目最終講義で講評。
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
成果発表	①		コロナ対策（遠隔授業）のためディベート発表形式は物理的な休止	
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
ポータル	①	✓	授業の展開段階における成長過程を Teams の質問や課題演習の内容から評価。←出欠状況と参加姿勢：質疑応答および課題（キーワード）演習レポートへの取り組み内容（メモ覧を活用した質問やコメント等）を含めて総合的にチェックします	総合評価(100%)点の 10% で評価。 第 15 回目最終講義で講評。
	②	✓		
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
その他	①	✓	コロナウイルス対策と授業の展開・進展の相互関連性を適時に判断	
	②	✓		
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			

備 考

他 担 当 教 員	
教 員 の 実 務 経 験	日本工営（株）国際事業部・コーエイ総合研究所（1976～1997） 高知工科大学（高知県立大学）・環境理工学部・教授（1997～2015）
実践的授業の内容	国際開発協力および紛争予防と平和構築 地球（地域）環境保全と持続的開発計画 水資源開発と水環境管理
そ の 他	2019 年に始まるパンデミック (COVID-19) により大学の授業の殆どが突如に“対面”から“リモート”に変更され、シラバスの内容も適時に適応させて変化させてきています。コロナ・ウイルス感染の認識と予見に甘さがあったためか、残念ながら After コロナではなく With コロナでパンデミックに対応せざるを得ない局面を迎えて今日に至っています。更に、2022 年 2 月にロシア・ウクライナ紛争が勃発し、コロナ禍に加えて悲劇的な混迷と戦闘長期化が続いており、現実的にはエネルギーや食糧や地域の安全保障にも大きな影響が出ているなかで新学期を迎えることになりました。そこで、急速にウイルス (COVID-19) と感染症や公衆衛生の問題や課題の背景と、更には今日のロシア-ウクライナ紛争に関係する歴史的な国際関係の変遷や地域の安全保障問題に対する内容を強化したシラバスに部分的な修正変更を加えています。 Teams を使った同時双方向型授業を行います。授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を推奨します。 今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバス変更の可能性があります。